

## 細石刃と細石刃核

旧石器時代  
(約15000年前)

黒曜石の小石(細石刃核)から、カミソリのような薄刃を何枚も剥ぎ取ります。その刃を槍(やり)の先などに埋め込んで狩りをしていました。とても器用な旧石器人の職人技です。上野原縄文の森の企画展で展示中。

(県立埋蔵文化財センター)



鹿兒島市・仁田尾遺跡

(随時掲載)